

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域の皆さんと一緒に認知症予防！
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 のぞみの里 (長野県木曾郡木曾町福島 5569 番地)
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	564,700円 (うち支援金: 291,000円)

### 事業内容

認知症の方へのケア及び虐待・終末期ケアの重要性を学ぶ研修会を2回開催した。

#### ① 第1階認知症介護研修会

- ・期日 令和2年12月18日(金) 10:00~15:00
- ・会場 木曾福島保健センター大会議室
- ・講師 三好 春樹 氏 ・参加者 29名

#### ② 第2回認知症介護研修会

- ・期日 令和3年2月19日(金) 10:00~15:00
- ・会場 木曾福島保健センター大会議室
- ・講師 滝口 光子 氏 ・参加者 33名



【第2回研修会】

### 【目標・ねらい】

- ① 3年間のまとめとして、希望の多かった認知症の方へのケア、虐待・終末期ケアの研修を開催。目標の参加者50名には届かなかった。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 「認知症予防事業」として3年間にわたり、講演会・元気が出る介護講座・研修会を開催してきたが、地域住民や、介護事業所の職員・民生委員等が参加し、ただ聴くだけでなく、聴講者も意見を述べるワーキング形式の事業ができてよかった。それぞれの事業に対して、参加者からは「大変良い事業であった」と評価された。
- ② 今年度については、コロナ感染防止のため、開催中止を考えたが、講師の温かい支えにより、対面での研修会ができてよかった。

### ※自己評価【B】

【理由】コロナ感染防止のため、一般参加者及び各事業所等からの参加者が予定を下回ってしまった。しかし、研修会の内容は参加者から称賛された。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・今後も認知症の方が増加する中で、地域の皆さんと一緒に「認知症」への理解を深め、地域で支えあうシステムの構築が必要である。
- ・小さなNPO法人ではあるが、地域の先頭に立って3年間の講演会・講座・研修会で得たノウハウを活かして、地域福祉の増進につながる活動を継続していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある